

# 令和元年度事業報告について

(公社)雲南市シルバー人材センター

## 1 事業活動の概要

日本企業の収益は、史上最高の水準に達し、また就業者数は 100 万人以上増えベースアップが 3 年連続、多くの企業で実現見込みとなり、有効求人倍率が 24 年ぶりの高水準となる等、企業収益は着実に雇用や賃金に回っていると思われます。日本経済はデフレ脱却が見えてきており、実質賃金は昨年下半年からプラスに転じていますが、その一方で、個人消費や設備投資といった民需に力強さを欠いた状況となっていると感じます。

国が言っている『一億総活躍社会の実現』に向けた最大のチャレンジは働き方改革であり、多様で柔軟な働き方が可能となるよう、社会の発想や制度を大きく転換するために、下記の内容に取り組まれています。

- ① 同一労働同一賃金の実現など非正規雇用の待遇改善
- ② 長時間労働の是正
- ③ 高齢者の就労促進

我々シルバー業務については上記目的の ③を基本に種々の業務に取り組んでいます。

日本には、豊かな経験と知恵を持っているアクティブシニアが多く、高齢者の 7 割近くが 65 歳を超えても働きたいと願っているのに、実際に働いている方は 2 割にとどまっています。このため、65 歳以降の継続雇用延長や定年延長等を利用されない方の企業への派遣等、受け入れ支援や、高齢者の就労マッチング支援の強化などに努めてきています。

令和元年度の当センターの会員数・就業延べ人数は、関係機関、特にハローワーク雲南、県シルバー人材センター連合会と連携しながら事業を進めた結果、会員数は令和元年 9 月に県連合会が目標値とする会員数 422 名を超え、また、契約金額も請負・派遣事業共に大幅に増加し、全体として前年度比で大きくプラスになっています。

こうした状況を踏まえ今一度注視し、期待に応えていくためにも「強い危機感」を持ち、「市民の支持拡大の運動」を粘り強く展開すれば、シルバー人

材センター事業の展望は、より明るなものになると確信しています。

当センターの事業実績は、下記に記述しますとおり一時的に会員数及び契約金額ともに平成 24 年度から大きく減少し、平成 27 年度には下げ止まりとなり、平成 30、令和元年度は会員及び役職員の努力はもとより、地域の皆様、行政をはじめとする関係機関のご支援により平成 28 年度を大きく上回ることであり、特に請負から派遣への切り替えにより、派遣の契約額が大きく伸びています。

安全第一の就業を目指していましたが、残念ながら総会以降 3 件の事故が発生いたしました。

以来、安全・業務委員会を逐次開催し、無事故就業対策について協議を行い、安全講習会の開催・委員会による現場パトロールの強化・実施、特に今年度から除草、草刈り、剪定作業において、会員自ら『就業前の安全点検表による点検・点呼・確認、』の安全自主点検を行い安全意識をもって就業し、傷害事故を無くすことを主眼に取り組んでいます。

今後は、先述したように国内外の社会経済情勢は全く予断を許しませんが、高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を今後ますます発展させていくためには、公益社団法人として市民の目線に立ち、多様化する社会的要請や企業要請などの社会経済環境の変化に的確に対応していくことが重要となります。

今後とも、安全就業を第一とし、派遣事業の積極的な取り組みなど国の施策の動向を注視し、県連合会及び近隣のシルバー人材センターとの情報を密にしながらか就業機会の拡大を目指し、お客様に「安心と信頼」される魅力あふれるシルバー人材センターを構築していく必要があります。

以下、令和元年度において実施した事業の概要を報告します。

## 2 事業実績（10年の軌跡）

（数値は、請負・委任と一般労働者派遣事業を合計した数値）

年度	会員数 （人）	粗入 会率 （%）	就業延 人員 （人）	就業率 （%）	受託 件数 （件）	契 約 金 額（千円）			
						計	公共 関係	企業 関係	一般 家庭
22	476	2.8	31,584	92.6	4,455	152,201	34,689	66,428	51,084
23	444	2.6	31,801	94.4	4,545	149,279	32,231	63,465	53,583
24	394	2.2	23,503	90.9	4,272	121,131	23,630	45,291	52,210
25	351	2.0	23,160	89.4	4,517	120,944	23,749	43,271	53,924
26	344	1.9	24,057	92.4	4,193	127,571	26,242	50,540	50,789
27	370	2.1	23,561	90.5	4,231	130,541	26,889	53,354	50,298
28	373	2.1	24,913	89.2	4,259	139,737	30,476	57,273	51,988
29	391	2.2	26,656	91.6	4,420	147,194	29,412	66,243	51,538
30	414	2.4	29,580	90.6	4,627	170,190	42,677	76,940	50,573
元	428	2.5	33,458	87.1	4,620	198,225	47,240	98,806	52,209
前年度比較	103.3%	+0.1	113.1%	-3.5	99.8%	116.4%	110.7%	128.4%	103.2%

## 3 実施報告

### （1）安全・適正就業について

・安全就業推進実施計画に基づき、安全な就業は全てに優先し、労働関係諸法規の法令を遵守し、安全・適正な就業に努めたが、剪定作業中の傷害事故が1件、草刈作業中による物損事故が1件、伐採作業中の物損事故が1件発生しています。（29年度2件、30年度3件、元年度3件）

・今年度からシルバー派遣事業における安全衛生管理について基本的な事項を定め、シルバー派遣会員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故を未然に防止することを目的とする衛生委員会を設置して、1回／月の衛生委員会の開催と派遣職場の安全衛生巡視を行っています。

### （取 組）

- ① 安全指導推進員による安全パトロールの強化（59回）
- ② 班会で安全就業講話及び就業に関する危険作業や偽装請負の自主点検に

ついて意見交換を実施

- ③ 公平な就業機会の推進（ローテーションの推進）
- ④ 事務局だより（2回発行）による安全就業の奨励
- ⑤ 安全・業務委員会による現場パトロールの実施（3回）
- ⑥ 安全衛生委員会の開催、職場の安全衛生巡視、産業医による健康対策

## （2）会員の増強について

会員の拡大は、当センターの最重要施策として取り組み、多様な発注ニーズに対応するため、下記の運動を積極的に取り組み会員の確保に努めています。

新規会員は48名、また病気や家庭事情での退会者が34名あり、今年度末の会員数は前年の414名に対し428名と14名の増となった。

（取組）

- ① 入会説明会を月2回開催（説明会参加80名）  
また出前入会説明会2回開催（入間、阿用地区）
- ② 一会員一人勧誘のロコミ運動
- ③ 後期高齢者等及び加入時期に配慮した会費制の導入  
（77歳以上は2,000円 当該年度10月以降入会者は半額、80歳以上はスーパーゴールド会員として500円）
- ④ 女性委員会の設置
- ⑤ 市内各交流センターへ事務局だよりの配布

## （3）就業機会の拡大について

就業拡大は、会員拡大と併せて当センターの最重要施策として取り組んでいます。

会員及び役職員は「みんなで開拓、みんなで就業」を基本とし、次年度以降もあらゆる機会をとらえて就業開拓に積極的に取り組みます。

（取組）

- ① 就業開拓推進員（兼務地域連絡員）を6地域に7名配置
- ② 役職員等による年末年始における企業訪問（78社）を実施
- ③ 派遣事業への積極的な取り組み（専属職員を配置）  
（受注件数37件 就業延べ人数7,640人日）

④ シニア就業相談会の開催

(8/5 木次、10/10 大東、12/13 加茂、2/10 木次)

⑤ 指定管理者制度（創生館、掛合体育館及び野球場）の継続受託

⑥ 行政機関等に対し令和2年度の予算要望、委託事業の確保の要望活動

(11月19日には速水雲南市長、藤井副市長他2名に、また、同日 山崎雲南市議会議長への予算要望と意見交換を行った。)

(4) 普及啓発の推進について

広く雲南市民に対し、シルバー事業の理念、意義、事業活動状況を地元テレビや新聞、一般研修、ボランティア活動を通し、会員拡大や就業拡大の普及啓発に努めた。

(取組)

① 市内10か所で164名の会員が参加しボランティア作業を実施

② 毎月ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した普及啓発を実施

③ ホームページ及び自治体の広報誌、新聞を活用した普及啓発を実施

④ 一般市民・会員を対象とした講習会を開催

- ・刈払い作業安全講習会(令和元年6月6日 参加者16名 於：斐伊川河川敷)
- ・かんたんスマホ体験会

(令和元年7月25日開催 参加者10名 於：シルバーセンター本部)

- ・刈払い作業安全講習会(令和元年10月24日開催 参加者8名 於：斐伊川河川敷)

- ・チェーンソー取り扱い作業安全講習会

(令和元年11月14日開催 参加者9名 於：大原森林組合)

⑤ 「利用者アンケート」調査を実施(90%以上の方が総合的に満足と回答)

(5) 財政運営の健全化について

平成22、23年の国における事業仕分け及び偽装請負等の関係法令の規制の強化に伴い、平成23年度には財政健全化指針を策定し財政基盤の強化を図っています。

令和元年度も引き続き指針を踏まえ、効率的な財政運営に努め、積極的に就業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の拡大を要請するなど財政基盤の安定化に努めました。

(取組)

① 派遣事業（新規3事業所）の積極的な取り組み

(参考：新規事業所)

JA 島根頓原加工所・倉田産業・(有)豆腐工房しろうさぎ

② 雲南市長及び市議会議長へ補助金の確保、及び委託事業の拡大に対する支援の要望と意見交換の実施

③ 効率的な財政運営

(6) 組織の充実について

センターは情報発信基地であり、情報の共有化を図るため、各種会議・先進地視察研修会等を横断的に開催し、組織体制の強化・課題解決のために積極的に取り組みました。

(取組)

① 理事会（7回）及び専門委員会（2回）の開催

② 女性委員会の開催

③ 安全衛生委員会開催（1回/月、職場の安全巡視）

④ 地区代表世話人会議（1回）及び各地区班会（8か所）の開催

⑤ 事務局長会議及び安全就業・会計事務研修会等への参加

⑥ 中国地区役職員及び担当者研修会（広島市）への参加

⑦ 役職員先進地視察研修（大竹市シルバー人材センター）の実施

⑧ 当センタースタッフ拡大連絡会議（3回）の開催